

平成21年5月10日発行

瑞雲：めでたいしるしの雲の意

瑞雲

すいうん

直方鉄工青年会

第45代会長 桑原英年

平成21年度スローガン

ALL-IN “氣”

この度、平成21年度直方鉄工青年会第45代会長を務めさせていただきます、株洋光製作所の桑原英年と申します。直方鉄工青年会が発足し45周年という節目を迎えることが出来ましたのも、平素より皆様方のご支援ご指導と、心より感謝申し上げます。本年度も会員一丸となり、精一杯頑張っております。どうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年からのアメリカ発の世界同時不況により、欧米、アジアの需要の低下、円高により輸出をメインとする

国内大手製造業に関わる、我々鉄工業界も深刻な影響を受けています。政府も中小企業対策や定額給付金など、さまざまな景気対策を行っていますが、景気回復を我々の業種、地域すべてが実感できるまでには、まだまだ先のように思われます。それでも今我々で出来ることを考え、各企業、また各団体、地域とも協力して乗り越えていかなければならないと思います。

今年度のスローガンですが、「ALL-IN “氣”」としました。ALL-INは、何事もみんなが一丸となり行っていくという青年会の伝統であります組織の力を、大切に1年間活動していきたいと思いを掲げました。組織力とは個人の力と、そのつながり力だと考えます。日々の中で個々の力を、スキルアップしていくことはもちろんのこと、青年会の活動の中で、その力がどう結びつくかにより良い集団になっていくものと思っています。その個々の力を発揮する際に必要な、技術や能力、考える力などをみがくための物事に対する気持ちである、気合や気力、また健康、体が資本ですから、元気など、より高い次元で具体化する基となる、人が発するエネルギーと言う意味に限って使われる文字の『氣』とさせていただきます。そのカタチとして具体化されたものの一つとしてクリーンエナジーカーが挙げられるかと思えます。鉄工青年会が複数年に渡り活動し、燃料電池など新しい技術を取り入れ、各企業の能力を結集し、一丸となり製作したものであります。これからも、新たな事業でも青年会らしさを表現し、活動していければと思います。

また、当会は会員減少という現実もあります。減少といいますが、会員が辞めていく訳でなく、45歳卒業ですので、新たな方が入会していかないと減少することになってしまいます。ここ数年は卒業生と新入会員の方がほぼ同人数で会員数を保っておりますが、毎年、会員拡大が当会の重要な課題であります。この地域で鉄工業に携わる、若い経営者、又候補の集まりですので、同様の立場の方には必ず様々な面でプラスになるかと思えます。ご存知の方いらっしゃいましたら、ぜひともご紹介ください。

今後とも皆様にはこれまで同様のご協力と、ご指導ご鞭撻をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



委員長ご挨拶 *YES, WE CAN!*

この度、第45代桑原会長に任命頂き、総務委員長を務めさせて頂くことになりました、福田雄介と申します。先日はご多忙中にもかかわらず「4月通常総会・懇親会」にご多数のご参列賜り、誠に有難うございました。皆様のご支援のお陰を持ちまして、無事執り行う事が出来ました。

さて、本年度の総務委員会は、年2回の総会を柱に毎月の例会のほか、「7月スポーツ事業」と「10月家族対象体験セミナー」の事業を行います。これらの事業で会員が「一致団結」し、本年度のスローガン「ALL-IN “氣”」を体現できるよう、頑張っている所存です。

歴史ある直方鉄工青年会の創立45周年という節目を、委員会メンバーが一枚岩となり事業に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

総務委員長
福田雄介



厚生委員長
高倉章史



この度、厚生委員長を務めさせて頂くことになりました高倉章史です。まず私を委員長に任命して頂きましたことを有難く御礼申し上げたいと思います。

本年度は45周年という節目の年であります。しかし、ここ最近の世相をみましても出口の見えない大不況と暗い話題ばかりです。そういった時こそ一丸となって青年会内で明るい話題に取り組み45周年を活気ある一年にし、50周年に向けての新たなスタートにしたいと考えています。

本年度の厚生委員会のテーマとしまして、「地域社会への貢献」、「会員相互の親睦」の二つを掲げて、年間事業を行い会全体を明るく盛り上げていこうと考えております。

青年会でも又人間的にもまだまだ未熟者ではございますが、精一杯頑張りますのでご指導、ご鞭撻、お力添えの程宜しくお願いします。

今年度、桑原会長より任命頂き、経営・広報委員長を務めることになりました石橋寛之と申します。直方鉄工青年会に入会し、今年で5年目になります。一昨年に副事務局長兼会計、昨年は総務・経営副委員長を経験させて頂き、今年はずいに委員長を任せられました。未だ不安な気持ちもありますが、頼もしい先輩や委員達に囲まれているので、失敗を恐れずに取り組みたいと考えております。

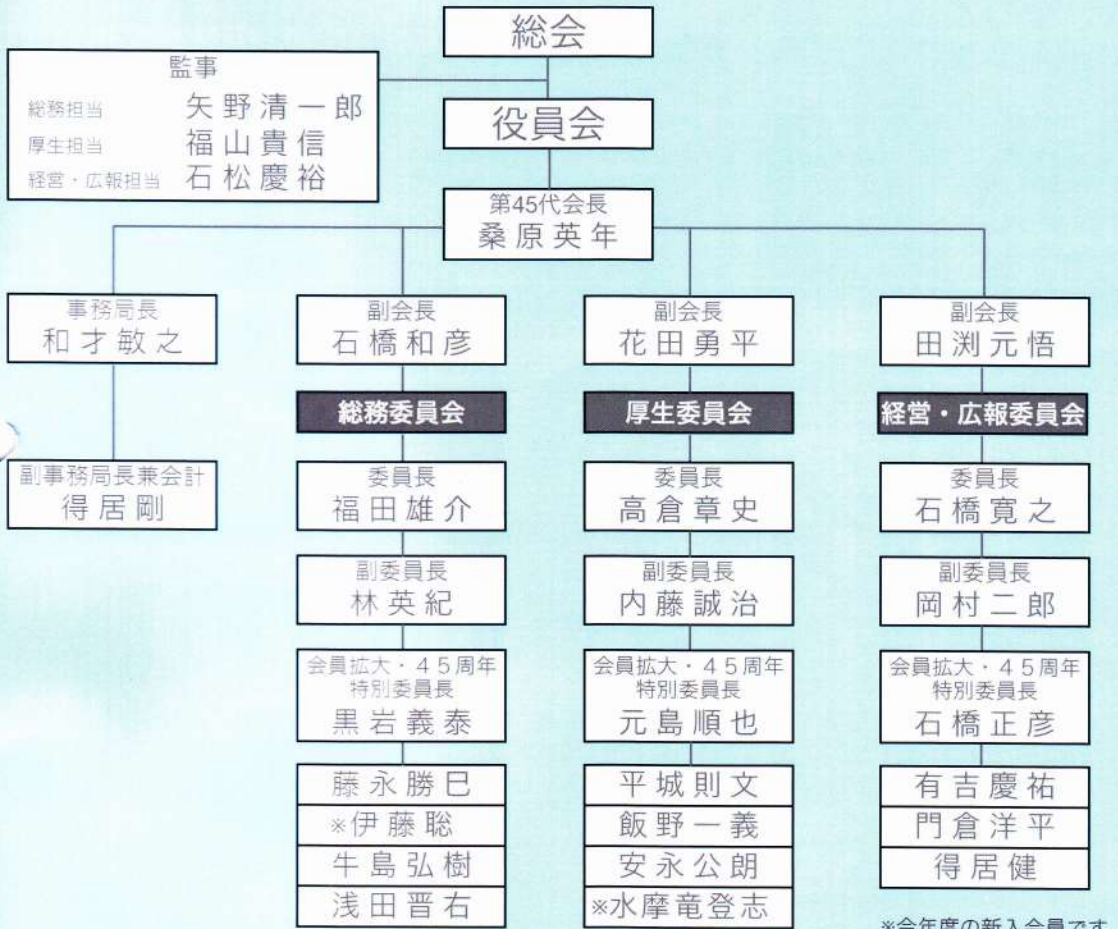
さて、今年度の経営・広報委員会のテーマは、身近な問題を題材とした全員参加型の経営セミナーを行うことが1点と、将来の青年会活動に繋がる積極的な広報活動を行うの2点です。まず経営セミナーについては、外部から講師を招待する形ではなく、委員会メンバーが中心となり、手作りで低予算かつ中身の深いセミナーを開きたいと考えております。各会員が学んだ事を会社で活かせる様な経営セミナーにすることが目標です。そして広報活動においては、今期だけを見据えた活動ではなく、今後の鉄工青年会の活動範囲が広がる様に、外部の団体と繋がりを持つ交流事業などを考えております。また、本年度は直方鉄工青年会発足後45周年になります。当委員会製作担当の広報誌「瑞雲」第89号を、45周年特別版として3月初旬に皆様方にお届けしたいと考えております。

最後になりますが、今年1年間、会長方針に添えられる様な会員全員が1つになれる事業活動を目指し、精一杯取り組む所存です。ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

経営・広報委員長
石橋寛之



直方鉄工青年会 平成21年度組織図



※今年度の新入会員です。

平成21年度 事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総務委員会	総会 懇親会	例会	例会	例会 スポーツ 事業	例会	例会	例会 家族対象 事業	例会	例会	例会	総会 懇親会	例会
厚生委員会					自然体験 事業			産業 祭り	45周年 記念事業			研修 旅行
経営広報 委員会		瑞雲 発行	経営 セミナー			交流広報 活動				特別会員 合同 新年会		瑞雲 発行
事務局		会活性化 事業 手帳 作成			初盆 参り				えびす 祭り		厄払い	会計 監査

4月通常総会 懇親会

THE 45TH ANNIVERSARY!

皆様のご協力により、節目の総会を盛大に開催する事が出来ました。



鏡割り風景



懇親会風景



会員集合写真



向野市長ご祝辞



アトラクション風景



会長挨拶



新たな鉄男のご紹介

NEW FACE!

今年度より青年会に入会させて頂くことになりました、(有)水摩組の水摩 竜 登志と申します。入社して6年ほど経ちます。仕事のいろはから学んでおりますが、まだまだ勉強の毎日です。青年会の活動は、多くの業種の方々との出会い、様々な意見や考え方に直接触れることの出来る機会だと思っています。その経験は、自分自身において、広く新たな視野を持つことが出来、仕事においても生かすことの出来る経験になるものだと思っています。青年会の活動を通し、より多くのことを学びたいと考えています。よろしくお願ひ致します。

(有) 水摩組
水摩 竜 登志



(株) 大同鉄工所
伊藤 聡



皆様、はじめまして。(株)大同鉄工所の伊藤聡と申します。この度、直方鉄工青年会の仲間として加わさせて頂くこととなりました。直方に帰ってきて5年、鉄工所に入って間もなく4年となります。歳は既に40を数えておりますが、若いつもりであると同時にまだまだこれから勉強という部分も多分にあるかと思ひます。様々なネットワークを広げていくことが、個人にも組織にも有益であることは間違いありません。鉄工青年会という地元のリアルなネットワークを通じて、会社に、地域貢献に、そして何より自分の楽しみとして、充実した日々を過ごせたらと考えています。遅れて来た新入会員で扱にくいとは思ひますが、皆さんと仲良くしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

直方鉄工青年会

福岡県直方市大字植木1245-2 (ADOX福岡/直方鉄工協同組合内)
 発行人 直方鉄工青年会 経営・広報委員会
 編集責任者 委員長 石橋 寛之
 印刷 直方鉄工青年会 経営・広報委員会